

よかっぺ通信

第 45 号

2024年 1月 9日

発行

人と人とがつながり、ふれあいの中で暮らしやすいさくら市をめざして！

地域むすび隊



～交え合いの種まき～



令和5年度第9回地域むすび隊定例会を開催！

新年、あけましておめでとうございます。
昨年は、様々なイベント活動の参加、ご協力ありがとうございました。

年明け早々、痛ましい災害や事故が起きて、コロナ後も気の抜けない日々ですが、むすび隊の活動の基本「自分達でできることを無理のない範囲で」をモットーに、「人と人をつなぐ」活動をこつこつと継続していけたらと思います。今年もよろしくお願いします。



12月定例会の様子

第10回地域むすび隊定例会

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和6年 1月20日(土) 10時～11時30分 |
| 会 場 | 市民活動支援センター(さくらいふ 2階会議室) |
| 内 容 | ○ 地域課題についての話し合い(福祉まつりアンケートを参考)
○ 「さくら市生活支援協議会」の取り組みを知ろう |



今後の予定

2月17日(土)のむすび隊定例会は「喜連川公方ひなめぐり」に決まりました。

2月は、喜連川地区のひなめぐりイベントの応援と地域活性化の協力を目的に、むすび隊ベストを着用してのひなめぐりを予定しています。
詳細は1月定例会にて。



3月16日の定例会は「今年度の振り返りと次年度に向けて」の話し合いを予定しています。

今年度もむすび隊の皆様には、地域の種まきを目的にした様々な活動をしていただきましたが、それを踏まえて、新年度について話し合えたらと思います。

お 願 い

お手元にアンケート用紙のある方は回答の上、1月の定例会に持参ください。
12月の欠席者の方で、「よかっぺ通信」をラインのみでの閲覧希望の方は、アンケート欄も事前に目を通し、1月の定例会当日配布の用紙に、回答をお願いします。



令和5年度 第9回地域むすび隊定例会報告

- 1 日 時 : 令和5年12月16日(土) 午前10時~11時30分
2 場 所 : 市民活動支援センター:大会議室・小会議室〔2階〕
3 内 容 :

(1) 前回の振返りと連絡

- ・11月19日「なんじゃもんじゃフェステバル」報告・・・決算報告も伝える。
- ・11月25日「歩くとよかっぺ防災ウォークラリー」報告・・・事後アンケート報告含
- ・1月~3月の活動について・・・・・・・・・・・・・・・・別紙提案資料で説明
- ・定例会のすすめ方について(司会 受付 ボランティアポイント押印等)
→無理のない範囲でむすび隊の皆さんにお手伝いしてもらうことになった。
- ・来年度の活動場所について・・・前期:喜連川公民館かお丸山ホテル
後期:市民活動支援センターで希望
- ・ライン登録者とよかっぺ通信発送希望者の再確認をした。

(2) グループワーク(2チームに分かれて実施)

① 防災ウォークラリーの振り返りをする。

- ・アンケート結果表から ・よかったことや課題 ・今後に向けてなど

② 1月~3月の活動について話し合う。

(3) 全体会

- ・1月と3月の定例会は提案資料通り。
- ・2月の定例会は、喜連川地区の「公方ひなまつり」巡りに参加協力することに決まった。詳細は1月の定例会で連絡。

【グループワークでの防災ウォークラリー振り返り内容】

ウォーキングチーム・・・・・・・・伊藤健・鈴木・野澤・仲根・肥後・笹沼・菅間・手塚浩

- ・時間的に余裕があって、しかも時間通りに終わってよかった。
- ・クイズの準備や各グループごとに簡易応急セットの準備などがすばらしかった。
- ・2歳~90歳代の参加があり良かった。2歳の子が消防自動車に乗れてよかった。
- ・天気がよくて良かった。
- ・集まりが少なかったのでラインでもPRした方がよかった。公共施設への張り紙は効果があった。
- ・交通安全面からグループに割り当てるスタッフは、氏家と喜連川の方が半々位ずつ入ると良かった。
- ・クイズの問題が難しかった。もう少し歩く距離があってもよかった。等

交流チーム・・・・・・・・小林・成毛・戸村・佐藤・塙

- ・一般の方の参加が少なかった。☞そのわけを話し合った。
- ①効果的な告知の方法が必要か(広報誌、SNS、公式ライン、公共施設・お店等へのポスター掲示・むすび隊から地域への口コミなど)
- ②コロナ禍が明けて。市の他のイベントと重なった。
- ③「ウォーキング」から今回「ウォークラリー」というタイトルに変わったことで、高齢者の中には言葉に戸惑いをもった方もいたのでは?
- ④喜連川地区の防災ということで、氏家地区の方にはいまいち興味関心が持てなかったのかもしれない。
- ・今回は小グループを編成し、その中でむすび隊のメンバーが最後まで自分の役割をてきばきと果されていたことがよかった。